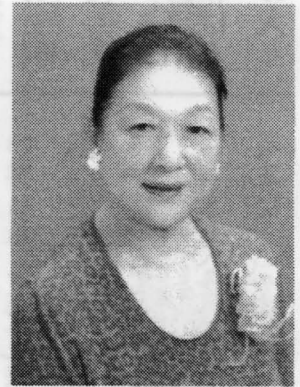


藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の芸術文化の振興に寄与することを目的とする。



新しい芸文協に向けて

市川市芸術文化団体協議会

会長 日倉 道代

五月二十七日の総会において新会長として務めさせていただくことになりました。微力ではございますが芸術、文化の振興に向けて努力して行きたいと思っております。

今までの芸文協を振り返り、そして新役員の皆様と今後の芸文協の方向性などを考えるために何回も常任理事会を開催いたしました。規約や会費の見直しをはじめとして、「新しい芸文協

に生まれ変われるように話し合いました。

今年度の活動は、芸文協の柱である「文化集会」に重きを置き、芸術文化に関わるテーマでシンポジウムを本日開催することができました。また、会員の皆様と親睦を深めるためのバス研修や新年会なども行つてまいりました。

故村上先生のご意志を受け継ぎ、芸術文化の灯火を消すことのないように、肅々と芸文協参加団体の皆様と事業を進め、この芸文協を守っていききたいと思っております。

最後になりますが、これからもご支援、ご協力をお願い申し上げます。



バス研修報告

爽やかな秋晴れとなった十一月六日、恒例の芸文協バス研修会を行いました。

今年の目的地は「東京都庭園美術館」と、忠臣蔵で有名な「泉岳寺」です。

港区白金台にある東京都庭園美術館は、昭和八年に朝香宮邸として建てられた建物をそのまま美術館として公開、戦後の一時期、首相官邸 国の迎賓館などとしても使われた歴史を感じる建物で、高価な壺や陶器の展示品が見事でした。また広大な庭園に囲まれ、自然と建物と美術品があわせて楽しめます。

昼食は高輪プリンスホテルのバイキングで、賑やかに食事をする事ができました。

最後に、赤穂浪士や赤穂城主浅野内匠頭長矩公の眠る泉岳寺にお参りし、皆さんと楽しい一日を過ごしました。

渉外部 飯塚春城

参加団体からの メッセージ

市川市合唱連盟

近藤 明子

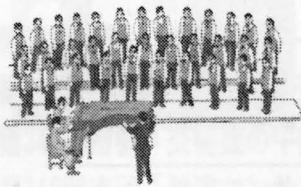
市川市合唱連盟は一九八〇年、故村上正治先生の呼びかけで発足、三十年間で団員数千名以上になったものの最近の世情を反映してか、やや減少気味です。芸文協の加盟団体の多くが同様の危惧を持たれているのではないのでしょうか。

今、私達の文化活動は人々の心に灯をともし、元気付けているのだろうか？

先日市川市洋舞踊協会の合同公演に伺い、「夏 秋 冬そして春 平和への祈りをこめて」を鑑賞。今日の日本の平和は六〇数年前の戦争での多くの人々

の犠牲の上にあることを決して忘れてはならない！とのメッセージがズシンと胸に響きました。そしてハッと気付いたこと、それは市川市三曲協会の宮本先生の箏をはじめ尺八、鼓、和太鼓等日本の伝統芸能の厳しくも暖かい名手達のサポートによるものだと。

私達芸文協の各団体が力を合わせて本当の戦争も平和も知らない子ども達の未来に向けてコラボレーションしていきましよう！



市川市花道協会

木村 美峰

「いけばな」は道祖として、佛に花を供える時代より、500年余りの歴史を経て現代に生きづいておりますが、花のもつ美しさは人に感動と人の心の中に憧れを創りだす花の詩、花の絵として多くの人々に親しまれてきました。

平安以後、宮廷では七夕花合せとして行事を行うようになり江戸初期、後水尾天皇は、たびたび宮中で大立花会を催され、江戸時代に通して「いけばな」が生まれてきたと伝えられています。日本の伝統、日本の文化として、しつかりと定着できたのは先人の努力と情熱による過去の

歩みと、その蓄積によるものと感謝し、私たちは二十一世紀と言う現代の「いけばな」を展開しなければならぬでしょう。海外では「いけばな」と言う日本語が適用するほどの芸術性、精神性を高く評価を受けていると聞いています。

百年に一度の大不況と言われるほどの経済状況で厳しい時代ですが、私たち「いけばな」に携わる者としては、未来につづく明日への道作りと、さらには道案内をと心を新たにしてみました。



市川市洋舞踊協会

荒木 洋子

市川市洋舞踊協会は、市内在住また市内において洋舞踊家として研究所などを主宰する方々によって構成されています。

昭和五十七年五月に設立され、毎年市川市芸術祭に参加し合同公演を実施しております。

十周年には「百合姫」二十周年「ITワールド」二十五周年「四季」の合同作品を上演いたしました。芸文協との合作としては、日本文化集会「千葉大会」「愛知大会」で「百合姫」を上演。第四回「和洋楽器の対比」と音楽と舞踊とコミュニケーション

「シヨン」に出演。

「手児奈フェスティバル」「荷風幻像」に出演。そして今年度「夏秋冬そして春」(平和への祈りをこめて)の合同作品を発表いたしました。今回は夏の場面で新州双和太鼓連の方々、冬と春の場面では三曲協会のご尽力により、琴、鼓、尺八の先生方に特別出演していただき華やかな舞台となりました。



今後合同作品などに意欲的に取り組み、協会の発展に努めてまいりたいと思っております。

市川オペラ振興会

木村 珠美

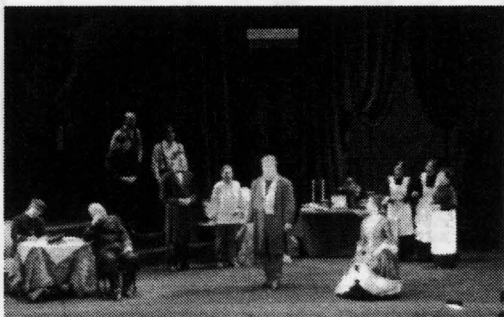
今年、市川市制施行七十五周年記念市川市芸術文化参加公演の市川オペラ振興会公演日本人による初演「フェドラー」に思うこと。

「フェドラー」といえば、十年ほど前にイタリア最長のオペラ歌手のフレリーニと、日本でも三大テノールの一人として名高いカレラスのコンビでNHKホール於いて開催されました。

ああその時、見そこなった人がいらっしやいました。なんとその方々は、京都、名古屋から来られました。今回の「フェドラー」はサスペンス

タッチの内容とドラマチックな曲が相俟って、インターネット見たいオペラランキング、ダントツ一位に輝いてしまいました。

今年新型インフルエンザがはやり、公演自体があやぶまれる中、公演日十月四日は天気にも恵まれ出演者も元気で大変よい公演となりました。今後も新しいオペラを企画制作してまいります。



芸文協の新役員を紹介します

会 長	臼倉	道代	(市川市洋舞踊協会)
副会長	近藤	明子	(市川市合唱連盟)
副会長	湯浅	止子	(市川民話の会)
事務局長	星	乗昭	(市川交響楽団協会)
会 計	湯浅	止子	(市川民話の会)
会計監査	宮本	誠子	(市川市三曲協会)
会計監査	木村	美峰	(市川市花道協会)

各団体の21年度活動情報

第34回市響「ジュニアオーケストラ演奏会」	5/5 (祝)	市川市文化会館大ホール	市川交響楽団協会
第21回市川市写真展	6/16 (火)~6/21 (日)	市川市文化会館展示室	市川市写真連盟
第341回市響「交響楽の午後」	7/19 (日)	市川市文化会館大ホール	市川交響楽団協会
第342回市響「納涼コンサート」	9/5 (土)	市川市文化会館大ホール	市川交響楽団協会
市川市手工芸公募展	9/9 (水)~9/13 (日)	市川市文化会館展示室	市川市手工芸連盟
第343回市響「合唱の集い」	10/4 (日)	市川市文化会館大ホール	市川市交響楽団協会
オペラ「フェドーラ」	10/4 (日)	市川市文化会館小ホール	市川オペラ振興会
第31回市川市民合唱祭	10/17 (土)・10/18 (日)	市川市文化会館大ホール	市川市合唱連盟
市川市三曲協会定期演奏会	11/1 (日)	市川市文化会館小ホール	市川市三曲協会
市川の民話のつどい	11/14 (土)	大野公民館第2研修室	市川民話の会
市川市吟剣詩舞道大会	11/15 (日)	市川市文化会館小ホール	市川市吟剣詩舞道連盟
市川市洋舞踊合同公演	12/6 (日)	市川市文化会館大ホール	市川市洋舞踊協会
市響「ファミリー交響楽コンサート」	12/20 (日)	市川市文化会館大ホール	市川交響楽団協会
第65回いけばな展	3/5 (金)~3/8 (月)	市川市文化会館展示室、大会議室	市川市花道協会

編集後記

新体制にて新たな一歩を確実にあゆみ始めた市川市芸術文化団体協議会に大きなエール!“芸文いちかわ”もやっと発行できました。

歴代の方たちが残した確実な歴史を尊重し、新たな芸文協の活動に大いに期待をしたい。この広報誌が皆様のはし渡しになれますように・・・

広報部 酒井



編集・発行 市川市芸術文化団体協議会 広報委員会 連絡先 047-334-7832 (酒井)

事務局 〒272-0097 松戸市栗山171-2 星方
ホームページ <http://www.geibun.net>